

氷雪路

知っておきたい 氷雪路での運転チェック

- ▶ 条件にあったタイヤを選びましょう。
- ▶ トラック、ライトバンに荷を積む時は重さ、左右のバランスをとろう。
- ▶ ブレーキの調整はお済みですか。
- ▶ タイヤ空気圧の点検はどうですか。
- ▶ 車間距離は十分に。
- ▶ 急ブレーキはかけない。
- ▶ 歩行者のそばは十分に注意。
- ▶ 停止は減速し早めにブレーキ。

冬の道路 急ブレーキ、急ハンドルは命とり

雪道歩行時の「七つ道具」

砂袋・スノーブラシ
不凍液・バッテリーブースター

サングラス



スコップ

ロープ

- 除雪用スコップ
- けん引用ロープ
- 不凍液
- スノーブラシ
- バッテリー・ブースター
- サングラス
- スリップ防止の砂袋

思わぬところに落とし穴

冬の道路は、降雪、凍結をはじめ、日なたと日かげ、走る時間等によって、状態は刻々と変わり、思わぬところに「落とし穴」がでます。

なかでも、トンネルの出口、日かげの道路橋の上などは、日照の関係や風の影響で凍結しやすくなっており、横すべりやハンドルがとられるといった危機が待ちかまえています。このような場所では、事前にスピードを落とすなど、十分に注意して走りましょう。



交通安全標語

- 事故防止 口でいうより まず自覚
- なれた道 心のゆるみが 事故を呼ぶ

飲酒運転は絶対やめよう 死亡率は平均の3.2倍

二・一世帯に一台―これは、全国平均で見た乗用車の保有台数です。

一方、十六歳以上の「免許適齢人口」に占める運転免許保有者の割合は、男性が一・五人に一人、女性が四・五人に一人、全体で二・二人に一人となっています。

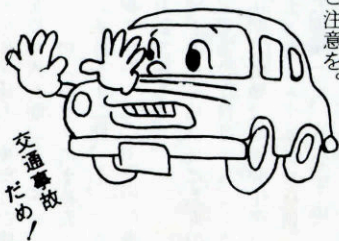
―二世帯に一台の割合で乗用車を持ち、二・二人に一人が運転する一クルマは、私たちの生活により一層身近なものとなりました。

ところで成人男子の八割は酒を飲むといわれます。

国民皆免許時代といわれる一方で、酒が日常広く親しまれる―車を運転する者は、だれもが、飲酒運転や酒気帯び運転の危険性を宿しているといえます。

酒酔い運転による死亡事故は、スピード違反、わき見運転について多く、その死亡率たるや、平均の三・二倍という高率です。

年始は、特に飲酒の機会が多くなります。「この程度なら大丈夫」―これが一番危ないのです。くれぐれもご注意を。



交通事故
ため!